

日本語教師養成プログラム 講座案内



文化庁届出受理番号R06031413046

日本大学通信教育部

I

講座概要

1 日本語教師養成プログラムについて

日本の社会は、今後、日本語を母語としない就業者、年少者が増加することは明らかであり、日本語教師の育成は喫緊の課題となっています。そこで、通信教育部と総合社会情報研究科が連携し、通信制の利点を生かした独自の日本語教員養成プログラムを開設しました。

本プログラムは、国家資格「登録日本語教員」の「経過措置」適用対象となりました。
経過措置期間中、本プログラムの全課程を修了し、かつ、学士以上の学位を有する方は「日本語教員試験」の「基礎試験」と「実践研修」が免除になります。

2 開講科目

科目名	受講 年次	科目名	受講 年次
日本語と日本文化	1年目	日本語と異文化間教育	2年目
日本語教育の現状と課題Ⅰ	1年目	日本語の理解と習得	2年目
日本語と社会Ⅰ	1年目	日本語教育実践Ⅲ	2年目
日本語の構造Ⅰ	1年目	日本語と社会Ⅱ	2年目
日本語教育の現状と課題Ⅱ	1年目	教育実習	2年目
日本語教育実践Ⅰ	1年目	日本語コミュニケーション論	2年目
日本語教育実践Ⅱ	1年目		
日本語の構造Ⅱ	1年目		

3 募集人数

通信教育部又は大学院総合社会情報研究科の在学学生 30名
(正科生又は科目履修生で、課程修了まで在籍できる方)

4 選考方法

書類選考

5 受講料

150,000円(年間)

※別途、在学に必要な年度学費を納入します。指定教科書・参考書等は各自で用意します。
また、教育実習時には実習費が生じます。

II

受講概要

6 年間スケジュール（例）

初年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	通信(メディア)授業					通信(メディア)授業						
上旬			面接			面接		面接				試験
中旬	ガイダンス					面接	面接		面接	面接	試験	
下旬					面接	面接		面接				
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	通信(メディア)授業					通信(メディア)授業						
							教育実習					
上旬		面接				面接						試験
中旬	ガイダンス		面接				面接			面接	試験	
下旬	面接				面接							

面接授業は、通信教育部の正課授業（スクーリング）等のない週末や休日を利用して、集中授業形式で実施します。そのため開講日程・開講方法は、毎年変更になります。

7 受講方法（例）

① メディア授業（通信授業）

メディア授業は、インターネットによるオンデマンド授業です。大学が指定する期間に、教科書を使用しながら、全15回（30単位時間）の動画を視聴します。また、面接授業とメディア授業を組み合わせ合わせて開講する講座（例：2回の面接授業と13回の動画視聴授業）もあります。試験は別途実施します。

② 面接授業（スクーリング）

面接授業は、集中授業形式で実施します。大学が指定する日時（土・日・祝や夏期休暇等）で、1つの科目を集中的に学習します。1科目当たり3～4日間で行います。試験は別途実施します。

開講例

A : 4 日間型

第 1 週		第 2 週	
土曜日	日曜日	土曜日	日曜日
10:40 ～17:50 (休憩含む)	10:40 ～17:50 (休憩含む)	10:40 ～17:50 (休憩含む)	10:40 ～16:10 (休憩含む)

B : 3 日間型

三連休・夏休み等		
1 日目	2 日目	3 日目
9:00 ～17:50 (休憩含む)	9:00 ～17:50 (休憩含む)	9:00 ～17:50 (休憩含む)

③ 試 験

面接授業及びメディア授業の受講成果を測る試験を実施します。

大学が指定する日時（2 月又は 3 月の週末を予定）に、科目ごとに実施します。試験会場は、通信教育部 1 号館又は 3 号館（予定）です。

試験時間は、各試験科目とも原則 60 分です。

実施例

時間	1 日目	2 日目
10:00～11:00	科目 1	科目 5
11:20～12:20	科目 2	科目 6
13:30～14:30	科目 3	科目 7
14:50～15:50	科目 4	科目 8

8 修 了

本プログラム所定科目の単位時間をすべて修得した者については、大学で修了証を交付します。

III

受講申込・説明会

9 受講説明会

プログラムの受講申込は、受講説明会（対面／オンライン）の参加が必要です。令和 7 年度募集についての説明会は、令和 7 年 2 月頃に実施予定です。

10 お問い合わせ

お問い合わせは、メールにて受け付けます。

電話や研究事務課窓口では、お答えできかねますので予めご容赦ください。

通信教育部研究事務課日本語研修担当: dld-nihongopg@nihon-u.ac.jp